

平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	「群馬県における高等学校等と連携した職業教育事業」		
法人名	社団法人群馬県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 中島利郎	担当者 連絡先	宇津木 謙 027-256-7000(代)

1. 事業の概要

(1) 職業体験講座(キャリア学習講座)

社会の構造的変化や雇用の多様化・流動化の中で、若者の勤労観、職業観の未熟さ、社会人・職業人としての基本的な資質・能力の低下が大きな問題になり、フリーターやニートといった若年無業者の増加が著しくなっています。若者が主体的に進路を選択できる能力や勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していけるよう、専修学校の機能を活かした「職業体験講座(キャリア学習講座)」を専修学校での講座開講と高等学校等への講師派遣によって実施しました。

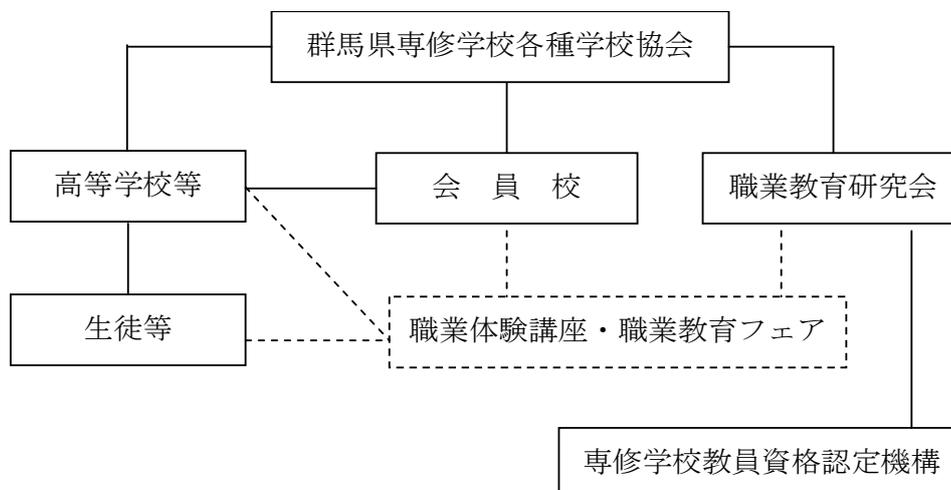
(2) ガイダンスイベント「職業教育フェア」

「職業体験講座」への導入を図るガイダンスイベントとして職業教育公開講座「職業教育フェア」を群馬県庁県民ホール(南ホール:職業体験講座ガイダンスブース 北ホール:イベントステージ・職業分野別体験学習ブース)で実施しました。高校生等多くの若者に呼びかけ、職業教育に係るパネルディスカッション・「職業体験講座」ガイダンス(職業体験コーナー・職業教育紹介&キャリア相談コーナー併設)・各種イベントでの体験を通して職業教育の重要性のアピール・職業意識の啓発・キャリア学習への動機付けをおこないました。

2. 事業の評価に関する項目

① 目的・重点事項の達成状況

(1) 事業のシステム



(協会→会員校) 事業説明・「講座」カリキュラム・「フェア」プログラム作成依頼
 (会員校) 「講座」カリキュラム・「フェア」プログラム作成

- (会員校→協会)「講座」カリキュラム・「フェア」プログラム提出
- (協会・会員校)「講座」カリキュラムメニュー・「フェア」プログラム調整・制作
- (協会・会員校→高等学校等)「講座」カリキュラムメニュー・「フェア」プログラム広報・説明等
- (協会⇔会員校)「講座」カリキュラムメニュー・「フェア」プログラム調整
- (協会・会員校・高等学校等)ガイダンスイベント職業教育公開講座「職業教育フェア」実施
- (協会⇔会員校⇔高等学校等)「講座」専修学校の受入調整・講師の派遣調整
- (協会・会員校・高等学校等)「講座」専修学校での講座の実施＝高等学校等生徒の受講
- (協会・会員校・高等学校等)「講座」講師の高等学校等への派遣＝高等学校等生徒の受講
- (アンケート調査)成果の確認方法として「講座」アンケート調査を実施

(2) 職業体験講座(キャリア学習講座)

① 事業の実施

- ・ 事業名 「群馬県における高等学校等と連携した職業教育事業」のうち「職業体験講座(キャリア学習講座)」
- ・ 実施日 平成20年7月16日(水)～平成21年3月12日(木)の各講座実施日
- ・ 実施場所 (体験講座)各専修学校 (講師派遣)各高等学校
- ・ 受講者 1,843名 : (体験講座)139名 (講師派遣)1,704名

② 事業の内容

- ・ 体験講座:専修学校での講座の実施＝高等学校等生徒の受講
専修学校数:12校 講座数:16講座
高等学校数:40校 生徒数:139名
- ・ 派遣講座:講師の高等学校等への派遣＝高等学校等生徒の受講
専修学校数:8校 講座数:46講座
高等学校数:12校 生徒数:1,704名

(3) ガイダンスイベント「職業教育フェア」

① 事業の実施

- ・ 事業名 「群馬県における高等学校等と連携した職業教育事業」のうちガイダンスイベント「職業教育フェアinぐんま」
- ・ 実施日 平成20年7月11日(金)～12日(土)
- ・ 実施場所 群馬県庁県民ホール
- ・ 参加会員校 33校
- ・ 入場者 2,000名

② 事業の内容

- ・ 「職業体験講座」への導入を図るガイダンスイベントとして職業教育公開講座「職業教育フェアinぐんま」を群馬県庁県民ホール(南ホール・北ホール)で実施しました。
- ・ 中学生・高校生・専門学校生をパネリストに「好きな仕事で夢をかなえる」をテーマにした職業教育、特に勤労観・職業観についてのパネルディスカッションを実施しました。
- ・ 「職業体験講座」ガイダンス(職業体験コーナー・職業教育紹介&キャリア相談コーナー併設)・各種イベントでの体験を通して職業意識の啓発・キャリア学習への動機付けをおこないました。
- ・ 若者によるパネルディスカッションの内容をメインに、職業教育フェアの内容を県内で最大発行部数を誇る地元紙上毛新聞の紙面において発表しました。

② 事業により得られた成果

(1) 職業体験講座(キャリア学習講座)

- ① 「群馬県における高等学校等と連携した職業教育事業」によるキャリア教育講座の実施
 - ・ 体験講座:専修学校での講座の実施＝高等学校等生徒の受講
講座数:16講座 専修学校数:12校 高等学校数:40校 生徒数:139名
 - ・ 派遣講座:講師の高等学校等への派遣＝高等学校等生徒の受講
講座数:46講座 専修学校数:8校 高等学校数:12校 生徒数:1,709名

② 「専修学校での体験講座」と「講師の高等学校等への派遣」による職業体験講座(キャリア教育講座)を通して、職業に就くことがいかに大切か、職業教育がいかに重要かを理解し、職業意識・勤労意欲を高めることができました。

③ 高等学校等と連携した職業教育事業による職業体験講座(キャリア教育講座)を通して、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や確固とした勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していけるキャリア教育の重要性を大きくアピールすることができました。

(2) ガイダンスイベント「職業教育フェア」

- ① 「職業体験講座」への導入を図るガイダンスイベントとして職業教育公開講座「職業教育フェアinぐんま」を群馬県庁県民ホールで平成20年7月11日(金)～12日(土)に実施、2,000名の入場を戴きました。
- ② 「職業体験講座」ガイダンス(職業体験コーナー・職業教育紹介&キャリア相談コーナー併設)・各

種イベントでの体験を通して「職業体験講座」の内容を具体的・体験的に紹介、職業意識の啓発・キャリア学習への動機付けができ、中学生・高校生・専門学校生をパネリストにした「好きな仕事で夢をかなえる」パネルディスカッションにより若者の勤労観・職業観を高めることができました。

- ③若者によるパネルディスカッションの内容をメインに、「職業体験講座」ガイドンス(職業体験コーナー・職業教育紹介&キャリア相談コーナー併設)の内容を、職業教育フェアの内容を県内で最大発行部数を誇る地元紙上毛新聞の紙面において発表することにより、県民、特に若者に、職業教育の重要性を大きくアピールすることができました。

③今後の活用

- ・本事業「高等学校等と連携した職業教育事業」は、「職業教育の日」(7月11日)制定記念事業として平成16年度にスタートし毎年度の実施が地元に着定しております群馬県「職業教育フェア」を基盤として、平成19年度にスタートしました。平成20年度には、「職業教育フェア」を「高等学校等と連携した職業教育事業」のガイドンスイベントとして統合一体化し、現在に至っています。
- ・本事業のミッションは「若者が、職業に就くことがいかに大切か、職業教育がいかに重要かを理解し、職業意識・勤労意欲を高められ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や確固とした勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していけるよう、高等学校・中学校等と連携して専修学校固有の教育力を活かした職業教育を展開する」ことにあります。群馬県における職業教育事業を担う群馬県専修学校各種学校協会の基幹事業として、来年度以降も、社会のキャリア教育ニーズに対応した本事業の一層の推進と定着を図ってまいります。
- ・中期的計画として、(1)中学校におけるキャリア教育とのタイアップを拡充すること、(2)ジョブ・カード制度との連携を推進することを事業の支柱に加え、本事業の今後の活用を図ってまいります。

④次年度以降における課題・展開

今後の課題、改善点として次の事項が挙げられます。

- ・激変する社会のキャリア教育ニーズを的確に把握し本事業に振り入れること
- ・高等学校・中学校等との緊密なコミュニケーションにより連携を更に拡充すること
- ・高等学校・中学校等の教科とのつながりを重視したキャリア教育(仕事と生活の学)を形成すること
- ・「1年次→2年次→3年次」という一貫した「キャリア教育」のあり方を構築すること
- ・フェアの会場を広げ全体の配置・レイアウトを工夫、ステージ・各コーナー等の拡充を図ること

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

- (1)事業名 「群馬県における高等学校等と連携した職業教育事業」
- (2)テーマ 若者が主体的に進路を選択できる能力や勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していけるよう、高等学校等と連携して専修学校固有の教育力を活かした職業教育を展開する
- (3)実施日 平成20年7月16日(水)～平成21年3月12日(木)の各講座実施日
- (4)実施場所 (体験講座)各専修学校 (講師派遣)各高等学校
- (5)受講者 1,843名 : (体験講座)139名 (講師派遣)1,704名
- ・体験講座:専修学校での講座の実施＝高等学校等生徒の受講
専修学校数:12校 講座数:16講座
高等学校数:40校 生徒数:139名
 - ・派遣講座:講師の高等学校等への派遣＝高等学校等生徒の受講
専修学校数:8校 講座数:46講座
高等学校数:12校 生徒数:1,704名
- (6)受講者の反応等

【アンケート調査結果】(回答数1,843名)

A. キャリア学習講座について

Q1: 講座を受講した感想はいかがですか?

- ・大変満足43.62% ・やや満足31.41% ・普通22.46%
- ・やや不満1.79% ・大変不満0.22%

Q2: (Q1の回答について) その理由をお書き下さい。

(主なものや特徴的なもの)

- ・自分の就きたい職業の仕事内容がよくわかった
- ・一生懸命とりくめば自分の納得いくものができる
- ・モノをつくる時一生懸命になれてとても楽しかった

- ・色んな考え方ができて将来の夢の視野が広がった
- ・色々な事を学びながら自分の可能性を知ることができた
- ・体験をしてみてもっとこの職業に対して興味がわいてきた
- ・努力をすればただ自分の身につくことだから頑張ることが大切だと思った
- ・頭で思っているより実際に体験することで仕事の難しさがわかったので良かった

Q 3 : 講座の内容は分かりやすかったですか？

- ・はい69.02% ・普通29.30% ・いいえ0.98% ・その他0.05%

Q 4 : 講座の時間はいかがでしたか？

- ・ちょうどいい73.52% ・短い12.15% ・長い12.48% ・その他1.09%

Q 5 : 講座に参加して、将来の仕事を考える上で役に立ちましたか？

- ・はい64.30% ・普通31.42% ・いいえ2.33% ・その他0.33%

B. 将来の仕事と相談相手について

Q 1 : 現時点で、将来なりたい仕事（職種）がありますか？

- ・ある56.38% ・ない42.97%

Q 2 : (Q 1 で「ない」と答えた方) 「ない」の理由で、あなたの今の気持ちに一番近いものを答えてください。*複数回答可

- ・仕事（職種）が分からない25.81% ・魅力的な仕事（職種）がない32.83%
- ・もっと先になって考えたい33.64% ・その他7.72%

Q 3 : 今後、あなたの仕事（職種）を決める上で、主に相談したい人は誰ですか？

*複数回答可

- ・保護者41.32% ・兄弟姉妹7.07% ・親戚3.42% ・学校の先生19.17%
- ・友人19.38% ・先輩6.84% ・その他2.80%

②その他

当協会は職業教育研究会・専修学校教員資格認定機構を設置し、専修学校教員の資格認定を行い教員の専門的知識・技術・技能・資質の向上を図って来ており、各会員校固有の機能を活かして、社会・企業の仕組みや仕事の内容、働くことの意義、勤労観、職業観の教導、多様な職業とその職業に就くために必要な知識・技能・資格の講義、参加者の志向・適性等に応じた多種多様な体験の機会が得られるような実践的な職業体験講座を、専修学校での開講と高等学校等への講師派遣によって実施しました。この講座実施を通して、受講生は職業に就くことがいかに大切か、職業教育がいかに重要かを理解し、職業意識・勤労意欲を高められ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や確固とした勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していけるキャリア教育の重要性を大きくアピールすることができました。